



白石真澄教授

献呈の辞

白石真澄先生は、2024年3月31日をもって、関西大学を定年退職されることとなりました。先生は、1987年3月に関西大学大学院工学研究科建築計画学専攻の修士課程を修了された後、民間企業に就職されました。その後、2002年4月より東洋大学経済学部にて助教授として採用され、2007年の政策創造学部創設と同時に本学の教授として着任されました。それ以降、大学および学部での研究・教育、社会的活動等の面において多大な貢献をされてきました。

白石先生の専門分野は福祉・社会保障であり、高齢者介護やバリアフリーなどの幅広いテーマについて、20冊の共著書を含む多大な研究業績を挙げてきました。また、先生は教育再生会議や規制改革・民間開放推進会議をはじめとする多くの国等の審議会の委員を務め、社会貢献の点でも大きな功績を残されています。学内においては、2017年から2023年までキャリアセンター主事を務め、多様なキャリアから得た知識と経験を活かして、学生の就職活動を力強く支えてこられました。

教育面においては、豊富な実務経験を基にした先生の講義やゼミは学生に評判で、白石ゼミは政策創造学部の中でも屈指の人気ゼミの一つでした。

関西大学政策創造学部は、先生の多大な功績に敬意を表して、「政策創造研究」第18号を「白石真澄教授退職記念号」として刊行します。

先生が関西大学を去られることは誠に残念ですが、今後も関西大学及び政策創造学部へのご指導、ご鞭撻を賜りたく存じます。先生が今後も健康に恵まれ、社会と研究の橋渡しをする分野でさらに活躍されますことを心からお祈り申し上げます。

2024年3月

関西大学 政策創造学部長
岡本 哲和

